

(様式4)

|    |     |      |    |     |              |
|----|-----|------|----|-----|--------------|
| 校種 | 小学校 | 学校番号 | 32 | 学校名 | 宇都宮市立瑞穂野北小学校 |
|----|-----|------|----|-----|--------------|

## 平成26年度 健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

### 1 健康（保健安全・食育）・体力に関する主な実態

- (1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから
  - ・県の平均値と比較すると肥満児童の割合は11%で、男子に多い。歯科では全児童のうち歯の罹患率は31%であり、県平均の60%に比べて大きく下回った。また、治療中は77%である。
  - ・体力チェックに関しては、各学年とも体力合計点は全国・県平均を上回っている。柔軟性や敏捷性に優れていて、立ち幅跳びも全学年とも平均を上回っている。20mシャトルランに関しては、平均を下回っているが、本校では校庭で実施していることが原因となっていることも考えられる。
- (2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び学習と生活についてのアンケートから
  - ・運動に対する意識は学年によって差があるものの、全体的には運動好きの傾向にある。体力に対する自信は、学年が上がるとう減少する傾向にある。運動することの大切さを意識しているものの、昼休みに進んで運動している児童は高学年では7割程度である。
  - ・朝食に関しては、90%以上の児童がほぼ毎日食べている。毎日食べているが100%である学年も2つある。
  - ・歯磨きに関しては、毎食後に実施している割合は各学年とも市の平均を上回っているか、もしくは同じレベルである。あまり歯磨きをしない児童も数名いる。
- (3) 授業や体育的行事等への取組状況から
  - ・授業では、各学級の人数が少ないことを生かして、一人あたりの運動量を十分確保できる授業を工夫している。また、単元の特性に合わせた補助運動やサーキットトレーニングを生かした準備体操も積極的に導入している。
  - ・上学年はボール運動を、下学年はなわとびや一輪車、鬼ごっこ等での遊びを好む傾向がある。
  - ・冬季にはなわとび大会を開催し、うつのみや元気っ子チャレンジにあわせて練習に励んでいる。
  - ・校庭が児童数のわりに広く使えるので、各学年とも活動量は多い。

### 2 今年度の重点目標（地域学校園内で共通する重点目標は、文頭に○または該当箇所に下線）

自分のめあてをもち、達成に向けて力いっぱい体で表現できる児童の育成

－体育の授業における豊富な運動量の確保と達成感を味わえる指導の工夫－

### 3 今年度の取組（地域学校園内で共通する取組は文頭に○、「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

- (1) 望ましい食習慣の育成
  - ☆食育だよりの発行（通年）
  - 学校園の食育だよりの発行
  - ☆朝食をとっていない児童の個別指導の実施（6月）（10月）
  - ☆給食委員会児童による栄養や地産地消、郷土料理の紹介（通年）
  - ☆「お弁当の日」での児童のバランスのとれた食に関する興味や関心の喚起（年3回）
  - ☆栄養士によるバランスの取れた食の献立のあり方等の授業の実施（5・6年家庭科）
- (2) 健康・体力の向上
  - ☆保健領域の学習は養護教諭とのT・Tにより実施
    - ・表現運動においては、複数学年合同によるT・Tによる実施
  - ☆授業の導入には、発達段階に応じて走力を高める補強運動を実施
  - 地域学校園版水泳検定表、なわとび検定表の活用
    - ・サーキットトレーニングの工夫による基礎体力の向上
    - ・持久走大会の開催や、児童の励みになる持久走シートの工夫と活用を通しての持久力の向上
    - ・縦割り班活動を活用した集団遊びによる運動
    - ・体育環境委員会の活動を通しての外遊びの奨励
- (3) 家庭・地域との連携協力
  - ☆保健だよりの発行（通年）
  - ・歯の健康教室への保護者の参加呼びかけ（6月）

- ・学校保健委員会の実施と学校医による講話（6月）
- ・持久走大会事前の健康チェック【内科医による】（12月）
- ・薬物乱用防止教室への保護者の参加呼びかけ（10月）
- ☆スクールガード・リーダーや警察署員等と連携した防犯教室，防犯避難訓練の実施
- ☆定期健康診断や新体力テストの結果を保護者に通知
- ☆登校班ごとに110番の家に訪問し，あいさつとお礼の実施（6月）
- ☆通学路の危険箇所の確認と，保護者への啓発（通年）